

Frontier-21

福井法人会青年部会会報 フロンティア21

■第二十四回 法人会全国青年の集い「とちぎ大会」

■税務署長との懇談会

■福井県法人会青年部会連絡協議会研修会

■県外視察研修旅行～未来工業～

■レスキューから学ぶ経営・こころ

■サマーフェスタ2010

■第三十三回 福井マラソン大会

■青年部会親睦ゴルフコンペ



この
普及
れた

平成

「三姉妹」

天正10年(1582年)、三姉妹(恭々、初、江)は、

お市の方(三姉妹の母)が柴田勝家に嫁いだ際

勝家の居城「小笠城」で暮らすことを始めた

福井法人会青年部会

2010年12月に柴田神社に設置された
浅井三姉妹の慰像

vol.36

第二十四回 法人会全国青年の集い「とちぎ大会」

が「笑顔の日本語～ユーモアコミュニケーション」というテーマでの講演で、会場は笑いの渦でした。

懇親会は会場をマロニエプラザに移して行われました。ウエルカムドリンクの「レモン牛乳」を飲んでその微妙な味を体験し、

地域の豊かな食をテーマに「景観・歴史・文化などを結びつけ、これらを「とちぎ食の回廊」として全国に発信する取り組みを進め、自然が育むとちぎの“おいしいもの”でもてなしてい

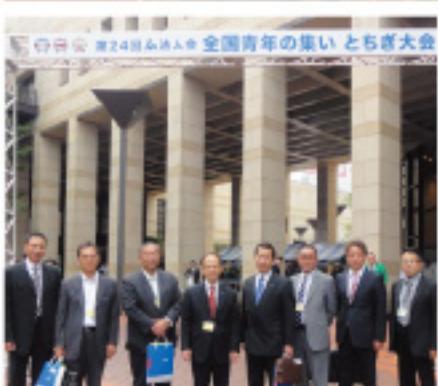
たとき、楽しく暖やかな時間となりました。

次回の青年の集いは、三重県伊勢市で開催されます。青年部会メンバーの皆さん、是非来年は一緒に参加しましょう！

(山田)



平成二十二年十月十五日(金)宇都宮市に於いて、「第二十四回全国青年の集い・とちぎ大会」が開催されました。我が福井法人会青年部会からは岩崎会長はじめ、総勢八名が参加。全国から二千三百名の青年部会会員が集まり盛大な大会となりました。大会式典は、白鷗大学ハンドベル部のメンバー十七名によるハンドベル百七十本を使った演奏のオープニングで始まり、上野大会会長の歓迎挨拶、張会長の記念講演では、三遊亭円楽氏



税務署長との懇談会

平成二十二年十一月七日(火) 税務署長との懇談会が行われました。これまで毎年、春山合同庁舎で開催していましたが、今回は福井市地域交流プラザ(アオウサ)五階会議室501での懇談会でした。

福井税務署からは、福井税務署長の五十里巧様をはじめ、筆頭副署長の七田伸義様、法人課税

第一部門統括国税調査官の酒師洋様、法人課税部門連絡調整官の小松紀夫様にご出席頂きました。最近の税務署の取り組みや、税に関するトピックなどのご紹介と意見交換を行いました。

岩崎会長からは、今年を振り返って、今年の漢字一文字を予想しつつ挨拶がありました。

五十里署長のご挨拶では、



法人の申告はもとより年が明けて確定申告においても個人の報酬や不動産の申告などに引き続きe-taxの利用を促進してほしいとの依頼もありました。また、「青年部会とかけて仲の良い夫婦と解く、その心は、強い絆で結ばれています。」と今年の流行語大賞「整いました」に引っかけて、青年部の結束についてもお言葉を頂きました。

また、フリートーリングでは、相続税や贈与税の最近の改正や、所得税、法人税、消費税に関する話題から、テレビドラマの

「ナサケの女」国税局査察官のこういうところは実際にあるとか、この部分はドラマとして楽しめば良いのではないかとか、税務署職員も近年女性が増えているといった、楽しい話題もありました。また、岩崎会長より、法人会の携帯電話を利用したアンケート調査システムに登録するようお願いもありました。

署長様をはじめ皆様から、直接大変貴重なお話を伺うことができました。福井税務署の皆様、お忙しいところ有り難うございました。

(荒木)

福井県法人会青年部会連絡協議会研修会



平成二十二年十一月二十四日（水）に福井県法人会青年部会連絡協議会研修会が小浜市のホテルアーバンポートで行なわれました。今年は小浜法人会青年部会の設立十五周年にもあたり、テレビでもおなじみの経済アナリスト森永卓郎氏が「生活を豊かにする経済学」と題して講演をされました。

森永氏はテレビで感じる親しみやすさそのままでした。森永氏によると、これから日本人はテレビでもおなじみの経済アナリスト森永卓郎氏が「生活を豊かにする経済学」と題して講演をされました。

森永氏はテレビで感じる親しみやすさそのままでした。森永氏によると、これから日本人はテレビでもおなじみの経済アナリスト森永卓郎氏が「生活を豊かにする経済学」と題して講演をされました。

は大陸型、ヨーロッパ型の経済を目指すべきであり、特にイタリア人のような生活を真似るべきのことです。イタリアは南北に長い島国で、中小企業の割合が99%、さらに少子高齢化が進むなど日本と非常に環境が似ているそうです。しかしながら労働時間が少なく休日も非常に多く日本人とは正反対です。（あくまで時間が短いとのことで中身は濃いとのことです。）

は皆さん思い当たることがあるらしく、場内からも笑いが起つていました。

講演会のあとは懇親会も行なわれました。そこでは魔ほうの愛華＆キタノ大地による「イリ

ュージョン＆マジックショー」が行なわれ、大掛かりなマジックの数々に皆さん驚いていたようであり、大変楽しく有意義な研修会でした。

（高村）



平成22年度福井県法人会青年部会連絡協議会研修会
社団法人 小浜法人会青年部会設立15周年記念講演会

Frontier-21

県外視察研修旅行～未来工業～

た研修旅行となりました。



平成二十二年九月十日(金)～十一日(土)、総勢十七名の参加を得て県外視察研修旅行が行われました。大垣市の未来工業株式会社の視察、近江八幡で水蒸焼の陶芸体験、平城遷都千三百年の朱雀門、大極殿、興福寺を見学、竜王の三井アウトレットパークの視察と盛りだくさんのスケジュールで大変充実しました。

工場見学をさせていただきました。会長のお話では「報・連・相の禁止」「七十歳定年」「産休三年」「社員全員が正社員」「年間休日百四十日」「就業時間七時間十五分」「残業禁止」など驚かされることばかりでした。一見すると、このような一般企業では考えられない制度ばかりがクローズアップされがち

た。ユニーアークな経営でかつ好業績をあげている未来工業株式会社は、よくメディアに取り上げられる優良企業で、電気設備資材、給排水設備、ガス設備資材の製造販売を行っている会社です。「常に考える」という標語が工場や事務所のあちらこちらに見え、ユニークで独創的な考え方を持つ創業者の山田昭男会長の経営理念が隅々まで行き渡っている会社でした。山田会長のお話を一時間ほど聞いた後、

工場見学をさせていただきました。会長のお話では「報・連・相の禁止」「七十歳定年」「産休三年」「社員全員が正社員」「年間休日百四十日」「就業時間七時間十五分」「残業禁止」など驚かされることばかりでした。一見すると、このような一般企業では考えられない制度ばかりがクローズアップされがち

ですが、その裏には、一工夫された商品開発、徹底的に効率化された現場、毎年数万件に及ぶ改善提案制度、従業員全員に行きとどいている節約・コスト意識などのベースがあり、失敗を恐れず何でもトライする起業家精神の風土から成り立っている制度なのだと、この事が大変よく理解できました。



最後に山田会長より「景気が悪いといつても日本の需要は五百兆円ある。それなのに売れないと会社が悪い。もつといえば社長の能力がないだけだ。頑張ってください。」という叱咤激励のメッセージがありました。

今回の企業視察では創業者山田会長の企業理念が社員に浸透し、同じベクトルに向かって社員が生き生きと働いている姿を

目の当たりにしました。差別化された商品で高収益をあげ、あらゆる形で社員に還元し、お客さまも従業員も共に幸せになるという会社の理想像を体現している素晴らしい企業でした。参加した方も、これから会社経営のヒントをつかんで帰られたのではないでしょうか。そのほかの企画も充実しており、大変実り多い研修旅行でした。(大谷)



レスキューから学ぶ経営・こところ

福井市中消防署特別救助隊隊長／杉本 和彦氏



平成二十二年十一月十六日(火)、
真価整パート14が寿々屋にて開催されました。今回は福井市中消防署特別救助隊隊長の杉本和彦氏に講師をお願いし、「レスキューから学ぶ経営・こところ」をテーマに講演いただきました。

冒頭では特別救助隊の組織や設も確保できなかつたために救助車の中で四日間、座つた姿勢で仮眠をとりながら救助活動を行つてしたこと。マンション倒壊現場で救助作業の要請があつた際には、前日に碎いたはずのコンクリート片がきれいに片付けられており、住民が取り残さ

をいたいたい。後に、救助体験として阪神淡路大震災での活動について話を伺いました。倒壊した家屋から高齢者が救助できた一方で、

水道網が壊滅的なダメージを受けていた事から燃え盛る炎を前に消火活動が出来ないもどかしい思いをしたこと。宿泊施設も確保できなかつたために救助車の中で四日間、座つた姿勢で仮眠をとりながら救助活動を行つてしたこと。マンション倒壊現場で救助作業の要請があつた際には、前日に碎いたはずのコンクリート片がきれいに片付けられており、住民が取り残さ

れた家族を思つて夜間に清掃していた事を考えると、胸に熱いものがこみ上げてきたとの体験など、隊員の強い使命感にあらためて敬意を抱きました。

講演の後半では日常の訓練について触れられ、隊員のモチベーションの維持と不測の状況に備えた訓練を如何に行なうか常に考え、そして訓練を通して隊員個々の技量、限界を把握する事がレベルアップにつながっていることを伺い、人材育成にもつながる話として大変参考になりました。

(齊藤)



平成二十二年八月五日(木)
午後七時より毎年恒例の青年部会サマーフェスタがガレリア元町通りの味処庄屋で行なわれました。この日は三国で史上最高気温の三十八度越えを記録し、非常に暑い熱い一日となりました。当日はこの日の気温に負けず会場は熱気に包まれ例年以上に盛り上りました。会員同士普段見られないような笑顔もあふれ観客を喜ばせました。会員同士



サマーフェスタ2010

毎年恒例!

(高村)

Frontier-21

毎年恒例！

第三十三回 福井マラソン大会

平成二十二年十月三日（日）、第三十三回福井マラソンが、大会史上最多の七千九百二十七人が参加して開催されました。

コースはホテルフジタ横をスタートし、県営陸上競技場をゴールとする日本陸連公認コースで、我が法人会青年部会からは五名のランナーが五キロの部と十キロの部に分かれて参加しました。参加者は揃いのユニフォームを着用。「美ショガー」に交じり沿道からの声援を受け、秋色の福井市街を法人会青年部会をPRしながら走り抜けました。（山田）

毎年恒例！

青年部会親睦ゴルフコンペ

平成二十二年十一月二十一日（日）、越前カンントリークラブにて総勢十五名が参加し、青年部会親睦ゴルフコンペが開催されました。当日は好天に恵まれ、絶好のゴルフ日和でした。言い訳の出来ないコンディションの中、花沢健一郎氏が、OUT39'、IN38'でグロス77。ネット77で見事優勝されました。（山田）

- ◆ 優勝 花沢健一郎
(グロス77 / ネット77)
- ◆ 準優勝 今井 雪夫
(グロス89 / ネット73 - 4)
- ◆ 3位 笠松 清司
(グロス93 / ネット76 - 2)



新入会員者紹介

（平成22年7月～平成22年12月入会）

■ 安達 吉則

（有）花工房
生花販売業

代表取締役社長
福井市里別所新町7-01-1

昭和46年7月29日
昭和42年2月7日

■ 戸川 賢貴

三栄タクシー（有）
一般乗用旅客自動車運送事業

取締役
福井市二の宮1-1-6-1

昭和40年6月9日
昭和36年7月28日

■ 長村 浩亨

（株）長村自動車
自動車一般・各種保険業

代表取締役
福井市高木2-1-206
昭和40年12月21日

昭和40年6月9日
昭和36年7月28日

■ 横本 宏敏

（株）ふくじ結納司 課園
精機品・掛軸・天神様・魔除・御朱

代表取締役
福井市廟化2-1-6-10
昭和38年7月28日

（五十音順）● 庄名 ● 法人名 ● 第種 ● 会員登録 ● 住所 ● 生年月日

【庄名】
安達吉則・大谷桂子・前藤義典・山田英樹・小寺信行
伊 員・喜木克彦・吉木田博・五十嵐淳・岩井忠之
宇都吉郎・児島利郎・吉澤謙弘・佐藤清秀
高橋賀成・鷹田一・田口一・中西和也
西村玄一・堀詠英知・平野 錠・本多尚貴
松田洋祐・森 元則・山越裕嗣・波原哲之



会員登録窓口／2010年12月に奥田神社にて設置された



めざします 企業の繁栄と社会への貢献